

令和元年12月1日

「まつもと子ども未来委員会」 の活動報告・市長提言



(第5期) まつもと子ども未来委員会

まつもと子ども未来委員会とは…

目的は？

- 「松本市子どもの権利に関する条例」による、子どもにやさしいまちづくりを進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため開催しています。

誰が？

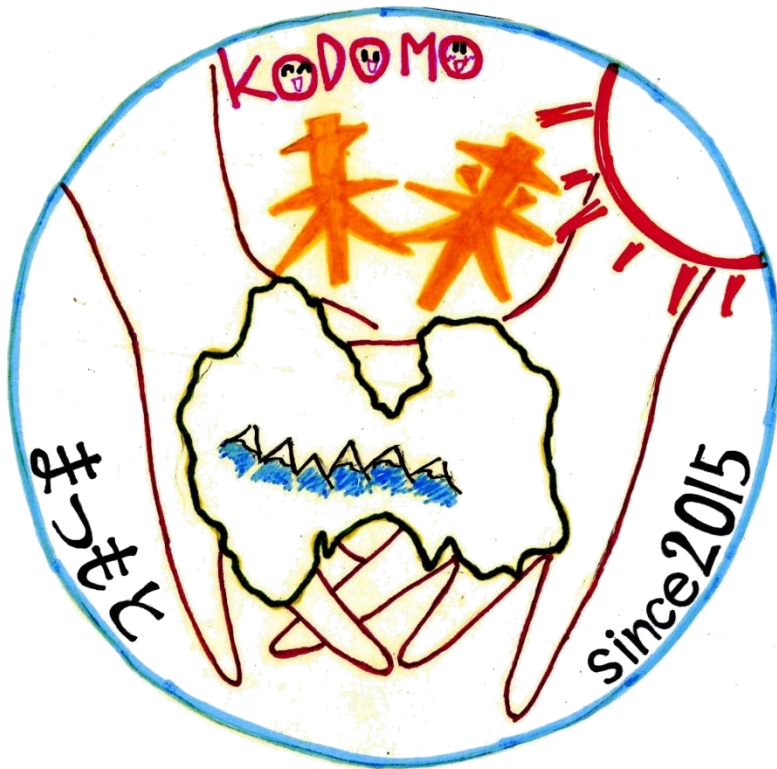
- 市内在住・在学・活動している11歳（小学5年生）から18歳（高校3年生相当）までの子どもで、学校からの推薦ではなく自分で応募し、学校、地域、年代を越えて、活動しています。

何をして
いるの？

- 松本市の取組みや地域の課題について学び、話し合い、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを自分たちで考えます。



未来委員会のマークについて



松本と松本の自然を大切にしたい(手の中に松本、山と太陽)
笑顔でいっぱいになりたい(KODOMOの顔が笑顔)



未来委員会7か条

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員会が
自分たちで考えました。



第5期の未来委員会

●活動期間

平成31年4月～令和2年3月（1年間）

これまでに13回委員会を開催

●委員

31人（小学生14人、中学生15人、高校生2人）

このうち、13人が、第4期から委員会を継続



**第5期の未来委員会の
のスローガン**

「松本と共にある 未来を描こう」



市民サポーター初参加！

- 今年度（第5期）から、大学生（10名）によるサポーターが未来委員会を応援してくれています。



第5期の活動について

1 「市への提言」

松本市が今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えを市へ提言します。

2 「提言の実践報告」

第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合って、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動し、市へ報告します。

※ 今回は、実践の中間報告を行います。



1 「市への提言」について



提言に向けた活動

松本市が、今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えをまとめる。

市役所
新庁舎
建設事業

新博物館
建設事業

受動喫煙
防止
対策事業



進め方

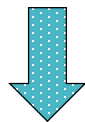
1 学習・話し合い

市の事業について
担当者の人から話を聴く
自分たちの意見を話し合い



2 現場見学

現場を見学して
感じたことなどについて話し合い



3 提言のまとめ

自分たちの視点で
これまで話し合ったり
感じたことについて
提言としてまとめ



市への提言 1

市役所新庁舎建設について
安心・安全 ～市民に寄り添う庁舎～



市役所新庁舎建設事業

「基本的な考え方」

- 1 分かりやすさ、使いやすさを実感できる庁舎
- 2 松本城と共に時を刻む庁舎
- 3 コミュニケーションが芽生える庁舎

「松本市らしい」庁舎を一緒に考えてみませんか！

政策課



みんなの意見等

- どんな世代の人にも使いやすくする。
- 市役所が古い建物だということに驚いた。
- 共に時を刻む庁舎 共に生きるのは素晴らしいことだと思う。
- コミュニケーションが芽生える庁舎
(先進的な取り組みで面白い)



提言にあたり

学習・話し合い

- どんな世代の人にも使いやすくする。
- 市役所が古い建物だということに驚いた。
- 松本城の近くに建てることに賛成

現場を見て

- もっとスペースを広くして、利用しやすくした方が良い。
- 通路を広くとり、各課の表示を統一すると分かりやすくなる。
- 市民が行きやすいと思える庁舎



課題・考えたこと



1. 市民が安心できるスペース不足
2. 職場環境
3. 松本らしさとは？



提 言

1. 子供のためのスペース設置
市民同士,市民と職員の交流スペース
2. 資料保管スペースの確保
防犯・防災を意識した物の置き方
3. 木材を利用する
イメージカラーの緑を取り入れる

市への提言 2



新博物館建設事業

分かりやすく

楽しく

使いやすく



新博物館建設事業



「どんな博物館？」

松本全体を屋根のない
博物館として捉え、
その中心となる博物館

市立博物館

みんなの意見等

- 個人向けアプリ（チケットの販売等）
- また行きたくなるような博物館
- 松本は自然が多いのでそれを展示する。
- 子どもの事も考えているのが良い。



提言にあたり

学習・話し合い

- ・ 個人向けアプリ（チケットの販売等）
- ・ また行きたくなるような博物館
- ・ 子どもの事も考えているのが良い。

現場を見て

- ・ 説明文は、子ども向けのものを作った方がいい。
- ・ クイズに正解すると、シールをもらえれば、小さい子どもも楽しめる。
- ・ 説明する映像に、キャラクターやクイズを入れるといい。



課題・考えたこと



分かりやすく

- ・説明文を見やすく
- ・スマホやタブレット等を使用した解説

楽しく

- ・定期的なイベントの開催
- ・フォトスポットの設置
- ・スタンプ・クイズラリーの参加

使いやすく

- ・歩きやすい配慮
- ・来館者が疲れないための工夫

提 言

分かりやすく



- ・文字を大きくする
- ・音声や動画での解説
をする

楽しく



- ・ツアーや体験を企画
開催する
- ・VR・ARを利用する

使いやすく

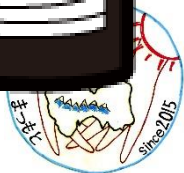


- ・少し柔らかいじゅ
うたんをしく
- ・スロープやエス
カレーター等の設置
- ・売店や休けい所等の
設置

共通して

- ・多国語点字表記をする

パンフレットの製作 ・博物館オリジナルキャラクターの公募



市への提言 3



受動喫煙防止



受動喫煙防止対策事業

「受動喫煙のないまちを目指して」

市・市民(観光客なども含む)・
事業者で協力し合い、未来を担う
子どもたちに受動喫煙のない社会
を残す。



健康づくり課

みんなの意見等

- 未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、たばこの煙を吸わされてしまう。
- 喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
- タバコは吸っている人だけではなく周りの人に害を及ぼすことに驚いた。



提言にあたり

学習・話し合い

- ・未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、たばこの煙を吸わされてしまう。
- ・喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
- ・タバコは吸っている人だけではなく、周りの人に害を及ぼすことに驚いた。

現場を見て

- ・地域や商店街の皆さんの力で、綺麗になっていると初めて知った。
- ・喫煙防止のため、心に残るキャッチフレーズを考える。
- ・新たな喫煙者を作らないようにする社会へ



課題・考えたこと



考之方

喫煙者が減れば、受動喫煙の回数自体も減り、根本的な解決につながる。



提 言

灰皿の設置場所の工夫

人通りのある場所に灰皿があるから喫煙者が増える。人通りの少ない場所に灰皿を設置すれば喫煙者が減ると考えた。

禁煙マークの工夫

足元にあるマークを目線の高さにする。デザインや色、字の大きさも工夫する。

喫煙可能な時間帯の規定

人がたくさん行きかう時間は吸ってはいけない等の規則をつくる(人通りが多いところ)

2 「提言の実践報告」について

第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合っ
て、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員
会で実際に活動し、市へ報告する取組み。

※ 今回は、実践の中間報告を行います。



実際に行う活動について

みんなの意見

【チラシを作って配る】

- ・自分で作って配って呼びかけたい。

【PR活動】

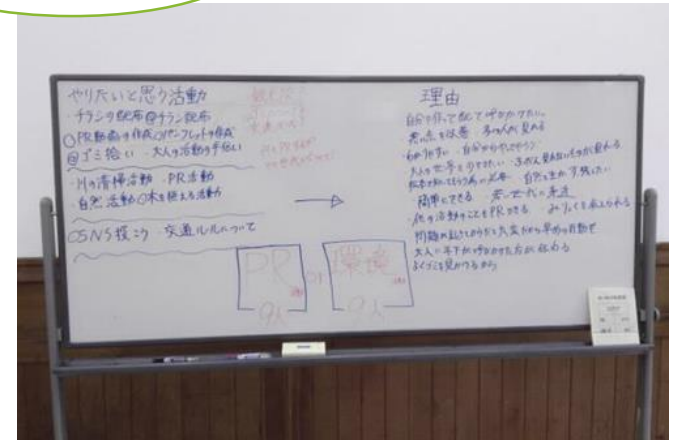
- ・自分たちが松本についてよく考えられるから。

【ゴミ拾い、川の清掃活動】

- ・活動を通して普段見られないものを見られるから。



「環境活動」と「PR（観光）活動」を行う。



環境活動

1 学習

ゴミの分別方法やゴミ拾いの注意点について学習

2 実施範囲

あがたの森文化会館～八十二銀行深志支店までの
あがたの森通りの歩道

3 実施内容

歩道の植栽の中に、タバコの吸い殻や
プラスチック製のカップなどがあり、
見えにくい所まで、丁寧にゴミ拾いを
行いました。



報告まとめ

目的

- 松本の自然を守りたい。
- 活動をすることで、ゴミを捨てる人が減るのでは？
- 環境について知るには、やってみるべきだと思った。
- ゴミを減らしたい。

活動をした感想

- 予想よりゴミが多かった。
- 植込みの下にゴミが多かった。
- 外で活動するのが楽しかった。

今後について

- 色々なところで、分別を意識したい。
- ポイ捨て防止の呼びかけ。
- この活動を広く伝える。



PR（観光）活動

1 学習

- 図書館などで、松本の観光や歴史について学習
- 観光情報誌などで、松本の観光地について調べた。

2 話し合い

- 松本の魅力について、何をどのようにPRするか。
- 松本の歴史、文化の観光PRについて、子どもの目線で考える。

3 活動内容

- 松本の美しい自然を春・夏・秋・冬に分けて紹介するポスターの図案を作成中
- 子どもに分かりやすい観光情報のPR方法を検討



報告まとめ

目的

- 松本の良い所を知ってもらいたい。
- 自分が知らない魅力を知ることができる。
- 市の観光PRに興味があった。

活動をした感想

- 松本の魅力を知ることができた。
- 知らなかった見所を知ることができた。
- ポスターのデザインを考えることができた。

今後について

- 松本の魅力をもっと伝えたい。
- 今回の活動を他の事でも活用したい。
- 子ども向けのPR内容を考えたい。



サポーターから 一言



ご清聴ありがとうございました。

